



大花羽小だより

教育目標 **自ら学び、心豊かで、たくましく
未来に羽ばたく子供の育成**

第7号 令和元年11月1日発行 文責：所 美由紀（校長）

11月、さわやかで過ごしやすい季節です。「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」「実りの秋」「スポーツの秋」等の言葉通り、学校も様々な教育活動を行い、成長した子供たちの様子が見られます。日々の授業の中でも、自分の考えを相手に伝えたり、友達の考えに触れたりすることで、お互いの考えを深められるようにしています。

先月の「ふれあいのつどい」では、たくさんのおすてきな「えがお」に出会えた1日になりました。講師・保護者・地域の皆様のご協力・ご支援に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、大花羽小学校は、10月に130歳を迎えました。9月、子供たちは、大花羽小学校の歴史と人物について学習しました。さらに、一人一人が、みんなに愛される大花羽小学校をテーマに「マスコットキャラクター」を考えました。大花羽小を誇りに思い、保護者や地域の方、みんなに愛される学校にしようとする思いを大切に育てていきたいと考えています。

校長 所 美由紀

茨城国体応援（ハンドボール）

10/3（木）に6年生が茨城国体のハンドボール応援に行きました。観戦したのは少年女子1回戦で、北海道ー兵庫県の試合です。

初めてハンドボールを見る児童も多かったですが、両チームを一生懸命応援しました。

45年ぶりに茨城県で開催された国民体育大会を生で見ることができ、貴重な体験をすることができました。



さつまいも掘り・試食会

10/8（火）に、たてわり班でさつまいも掘りをしました。5月に植えた苗も順調に成長し、立派なさつまいもを実らせました。その大きさに驚いていた児童もいました。

掘ったおいもは、10/15（火）にみんなで試食しました。大花羽小さつまいもはとってもおいしかったです。



障がい者スポーツ体験学習

10/9（水）に、男子ゴールボール日本代表強化指定選手の山口凌河（やまぐち りょうが・関彰商事株式会社）選手に來校いただき、5年生がゴールボール体験学習を行いました。

山口選手は、中学3年の時に病気でほぼ視力を失ってしまいましたが、茨城県立盲学校でゴールボール競技に出会い、熱中したそうです。

5年生は、山口選手の明るく力強い言動にとっても感動していました。山口凌河選手が東京パラリンピックに出場し活躍してくれるよう、みんなで応援したいと思います。山口選手、本当にありがとうございました。



今後の予定

- 11/13（水）茨城県民の日（休み）
- 11/26（火）愛校作業 13:15～13:30 ※
- 11/29（金）持久走大会、授業参観

- 12/24（火）第2学期終業式
- 1/8（水）第3学期始業式
- 1/9, 10（木, 金）学力診断のためのテスト
- 1/26（日）第2回資源回収



※アンケート調査で「親子で活動しては」とのご意見がありました。よろしければご参加ください。

ふれあいまつり

10/26（土）に「大花羽小ふれあいまつり」を行いました。保護者の皆様には朝早くからカレー・豚汁を作っていただきました。とても美味しかったです。

秋の1日、子供たちはのびのびと発表をし、親子活動でとても楽しい時間を過ごすことができました。講師の先生方、地域の皆様、本当にありがとうございました。

★さわやかマナーアップキャンペーン ●4, 5, 6年生の発表



●1, 2, 3年生の発表



●有志発表



★お米・キウイ販売



★カレーライスと豚汁



★味噌びらき



◆スライム・化石・ブーメラン



◆料理（ピザ）



◆魚釣り



◆絵手紙・カード



◆たたみストラップ



◆バルーンアート

